

高校写真部建設現場撮影会より

高校写真部の撮影会を建設現場で一。長崎県初の試みが昨年11月に3カ所の現場で行われた。噂の土木応援チーム「デミーとマツ」のデミー(出水亭長崎大学職員)が、国土交通省長崎河川国道事務所の協力を得て実現したもの。

11月1日に、国道57号森山拡幅の「長崎57号下井牟田赤崎高架橋床版工(AP3-P5)外工事」(施工・榎上滝)で、県立諫早高等学校と大村高等学校の写真部の生徒計22

人が参加して1回目の撮影会を実施。

11月13日には、「本明川ダム工事用道路古場地区改良3期工事」(施工・榎堀内組)と「本明川ダム付替市道落線改良工事」(施工・吉川建設(株))の2現場を、諫早高等学校と長崎東高等学校の写真部計7人が撮影した。

これまで建設とのかかわりがほとんどなかった普通科の高校生は、建設現場で何を感じ、シャッターを切ったのか。撮影した写真とともに紹介する。

次の世代からの メッセージ

messages from the next generation

高校生が見た建設現場

撮影会は昨年末にも再度開かれました。これらの撮影会での写真は、2月に諫早駅の再開発ビル i i s a で展示予定です。



●大村高校 / 2年
松尾 彩加 さん

職人さんが身に付けている道具を見て、大切に、使い慣れていることがよく分かったので、あえて表情ではなく道具を切り取って撮影しました。



●諫早高校 / 2年
山本 志歩 さん

建設工事は、チームで力を合わせて作り上げているんだと実感しました。それを、朝礼の安全確認の様子の様子を伝えたいです。



●大村高校 / 1年
早川 美濤 さん

湾曲の面白さに目を惹かれました。普段、道路を造る過程を見る機会はないので、自分が撮ることで、他の人にも現場の凄さが伝わればいいなと思います。



●大村高校 / 2年
出口 遥 さん

初めて見る職人さんの技に驚きシャッターを切りました。建設現場に行ったことが無い人にも、その迫力を少しでも感じてほしいです。



●大村高校 / 2年
金井 美羽 さん

普段入ることができない工事現場での撮影で、働く方々のいきいきとした表情を、新鮮な気持ちで撮ることができました。



●諫早高校 / 2年
堀之内 優香 さん

ものすごく重いはずなのに、爽やかに笑っている姿がかっこいいなと思いました。できるだけいっぱいに写したかったので、縦構図にしました。